

■EU：EUの最終エネルギー消費に占める再エネ比率、2013年は15%

欧州統計局（Eurostat）の2015年3月10日付発表によれば、2013年におけるEU加盟国の最終エネルギー消費に占める再エネの割合が前年から0.7ポイント上昇し15.0%となった。上位3カ国はスウェーデン52.1%、ラトビア37.1%、フィンランド36.8%、下位3カ国はルクセンブルク3.6%、マルタ3.8%、オランダ4.5%であった。EUは2020年までに同再エネ比率を20%へ引き上げることとし、加盟国ごとの目標値を設定している。28カ国のうちブルガリア19.0%（2020年目標16%）、エストニア25.6%（同25%）、スウェーデン52.1%（同49%）の3カ国が既に2020年目標を達成している。また、リトアニア23.0%（同23%）、ルーマニア23.9%（同24%）、イタリア16.7%（同17%）が目標到達まで0.5ポイント未満に迫っている一方、英国5.1%（同15%）、オランダ4.5%（同14%）、フランス14.2%（同23%）、アイルランド7.8%（同16%）は目標値との間に8ポイント以上の乖離がある。